

きみつ地域づくり協議会

# 周西地区設立準備会 第4回

2024年9月4日(水)

1. 開会・あいさつ
2. 全員自己紹介（お名前+今回の“お題”）
3. 前回の振り返り と グループわけ
4. グループワーク 地域に思うこと②  
「こんな課題がある」～その2～
5. 感想メモ
6. 皆さんからのご提案・情報提供
7. 次回の日程



## 前回(8月)の振り返り

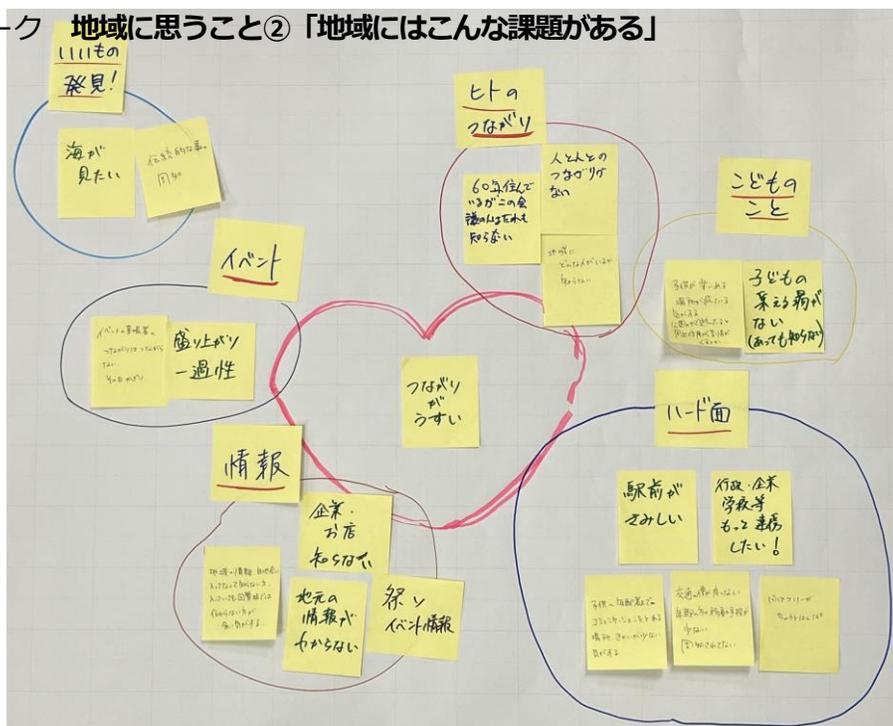
グループワーク

### 地域に思うこと②

「地域にはこんな課題がある」



## グループワーク 地域に思うこと②「地域にはこんな課題がある」

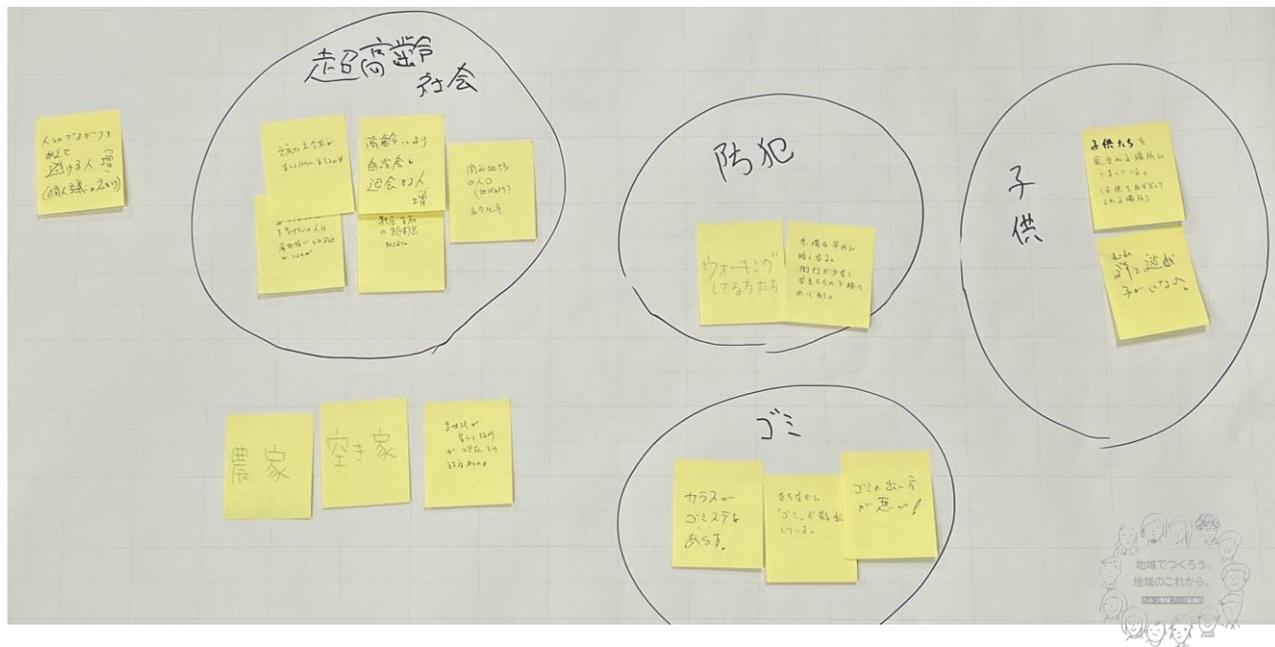


## グループワーク 地域に思うこと②「地域にはこんな課題がある」

- ・ 駅前がさみしい
- ・ こどもから高校生が集える場所がない、または知らない
- ・ 企業や学校が地域と連携していない
- ・ つながりがうすい (人と人)
- ・ 地元の情報がわからない
- ・ 海がみたい
- ・ 互いが知り合いではない
- ・ 交通の便が悪かったり、高齢者の移動手段が難しいことが知られていない
- ・ コミュニケーション
- ・ バリアフリーが中途半端。(例：駅に多目的トイレあるけど、きたない。)
- ・ イベントなどでの盛り上がりが一過性。つながりや継続性がない。来場者との関係もつながっていかない。
- ・ 地域の企業、お店を知らない。情報がない。
- ・ 「つながり」が全体的な課題の根底にある。その上で、「ひと」「情報」「ハード面(場所や公共施設など)」「イベント」に分けられる。また、「ひと」のつながりは「子ども」を介してつながることもある。
- ・ そのほかに「いいもの発見」の考え方もある。



## グループワーク 地域に思うこと②「地域にはこんな課題がある」



## グループワーク 地域に思うこと②「地域にはこんな課題がある」

- ・ 子供たちを見守れる場所
- ・ 防犯灯が少ない/暗くなる (人見地区)
- ・ ゴミが散乱している。
- ・ 空き家が多い (怖い、もったいない)
- ・ 物価高騰で生活が不安
- ・ ウォーキングしている人たちには道が暗い
- ・ 独居家族 (3,000人超いる。)
- ・ 周西地域の人口、高齢化率を調べる必要がある。元気な高齢者が高齢者を支える側になる。
- ・ 多世代が集まり集う場所が必要。
- ・ 高齢で自治会退会
- ・ ゴミステーションがひどい
- ・ 個人主義がつよい
- ・ カラスの被害
- ・ 少子高齢化、子供が群れて遊ぶ姿を見ない。





## 7つの分野に整理

- ◆ 人のつながり・コミュニケーション
- ◆ 情報（地域、イベント、人など）
- ◆ 場所・仕組み・ハード・イベント・にぎわい
- ◆ こども・子育て・若者
- ◆ 防犯・防災
- ◆ 超高齢化社会
- ◆ ゴミ問題・住環境・空き家



### みなさんのコメントから…

- 「前回のまとめ」を配布してほしい。
- 周西地区の現状を地区別（人見，神門、大和田、坂田）に、データ & 課題を把握しておく必要がある。（EX. 男女別人口、高齢化率、独居家庭、介護認定状況等）
- 一言自己紹介は、どう言う方が参加者しているかを知る上で良かった。次回も是非。
- 地域課題について各個人が配布用紙に書き、模造紙に纏める方法は意見集約に良案と思った。
- 課題提出については、もう少し時間を掛けて議論した方が良いとも思った。
- 課題提案の議論は、ブレインストーミング方式も考えられる。
- 残暑払いを行ない、飲みながら意見交換は意外と良い意見が出ると思う。

## みなさんのコメントから…

- 〔提案〕地域の課題を知る為には、まずは地域を見て回る「ワークショップ」が出来ればと思う。そして、地域の課題として「地域の良いところ」、「悪いところ」、「どのようにしたら良いか」等を紙に書いて頂き、地図上等に課題等纏めて、意見交換する方法も考えられる。ただし、この方法は地域が広いため、バス等で移動しながら全員で地域を見て廻る方法等も考えられる。
- 周西地域をもっとよくしたい！という思いで皆さん集まっているので、大きな目標は同じだが、そこまでのプロセスが「コミュニケーションの場」「防災、防犯」「ハード面の整備」「子ども、若者」とそれぞれ思いのベクトルが違うので、今後どうまとめていくのかが重要だと感じている。
- 地域づくり課のリードが無くなったとき、どう動いていくべきかを考えないといけない。
- 今回出し合った課題や問題点の全体に見合わすと、次回に掘り下げた際に何処かのグループと一緒に感じる。
- 課題や問題点は必ず何処かで繋がる、が「繋がり」という輪が変わる。「繋がる輪」。手と手を合わせれば、脱線も解決して行けると強く思った。